

学び舎に感謝を込めて —5つの小学校、歴史に幕—

布勢・三成・亀嵩・阿井・三沢の5校が閉校 4月から仁多小学校に

小学校再編に伴い、3月21日・22日に布勢・三成・亀嵩・阿井・三沢の5つの小学校の閉校式が行われました。それぞれの小学校で糸原徳康島根県議員や石原武志奥出雲町議会議員をはじめとする来賓の方々、児童、教職員、多くの地域住民、歴代卒業生が出席し、長年地域とともに歩んできた学び舎に別れを告げました。式典では校歌斉唱や校旗返納などが厳粛に執り行われ、積み重ねられてきた年月と地域の支えへの感謝があふれるひとときとなりました。

4月からは、「仁多小学校」として新たな歴史が始まります。

亀嵩 小学校



校旗返納



校歌斉唱

3月21日、創立152年の亀嵩小学校で閉校式が行われ、約270人が出席しました。
小銀康之校長は「子どもたちは新しい仁多小学校での生活に夢や希望を抱き、新たな一歩を踏み出そうとしている」と述べ、「今後も地域の宝である子どもたちの健やかな成長と活躍のため、ご指導ご支援いただきたい」と呼びかけました。
その後、思い出の詰まった校舎への感謝を込めて全員で校歌を斉唱し、最後には校旗返納が行われ、小銀校長から糸原町長へ校旗が手渡され、1897人の卒業生を輩出した亀嵩小学校の歴史を閉じました。
式典後には「感謝の集い」が開かれ、児童発表や記念撮影、食事会などを通して、これまでの歩みを振り返る温かな時間となりました。

阿井小学校



校旗返納



校歌斉唱

3月22日、創立152年の阿井小学校の閉校式が行われ、約350人が出席し、歴代卒業生3327人の歴史に思いを馳せる式となりました。

桑山悟校長は「自然と地域との触れ合いの中で培った郷土愛は、子どもたちの将来を支える糧になるに違いない。地域と共に歩むという理念はこれからも皆様の心の拠り所として残り続ける」とあいさつ。その後校歌斉唱が行われ、出席者全員で阿井小学校の思い出を胸に歌声を重ねた後、校旗返納が行われ、桑山校長から糸原町長へ校旗が手渡されました。

式典後には地域主催のイベントが開かれ、太鼓やどじょう堀い、神楽など多彩な催しが披露され、閉校に花を添えました。

三沢 小学校



校旗返納



校歌斉唱

3月22日、創立152年の三沢小学校で閉校式が行われ、約200人が出席しました。
難波真章校長は「三沢小学校は閉校となるが、子どもたちの学びは続く。明るく楽しくみんなで学んできたこともたちは新たな学校でも力を発揮し活躍すると信じている。多くの方々の支えにより今日を迎えられた」と感謝を述べました。長年の歴史への感謝と別れの思いを胸に、全員で最後の校歌を斉唱した後、難波校長から糸原町長へ校旗返納が行われ、歴代卒業生2892人を輩出した三沢小学校の歴史に幕を下ろしました。
式前には記念植樹が行われ、式後は地域主催の催しで餅まきや児童生徒等による合唱などがあり、節目の日を温かく締めくくりました。

布勢 小学校



校旗返納



校歌斉唱

3月21日、創立152年、2623人の卒業生を送り出してきた布勢小学校で閉校式が行われ、児童や教職員、来賓、地域住民など約500人が出席しました。

長谷川勝一校長は「子供たちは地域の皆様と直接関わる中で、この町の良さや人の魅力に触れ、地域を愛する気持ちを育んできました。これまで関わってくださった一人ひとりの心の中で、布勢小学校の灯がこれからも光り続けると信じています」と挨拶。その後、全員で最後の校歌を斉唱し、長谷川校長から糸原町長へ校旗返納が厳かに執り行われました。
式典後には記念イベントが行われ、太鼓演奏や児童発表、記念撮影などで思い出を分かち合い、最後は終わりのチャイムで締めくくられました。

三成小学校



校旗返納



校歌斉唱

3月21日、創立153年を誇る三成小学校の閉校式がカルチャープラザ仁多で行われ、約200人が出席し、歴代卒業生3418人を送り出してきた学び舎に別れを告げる節目となりました。
三島啓介校長は「最後の一年、伝統に恥じぬよう懸命に取り組んできた。地域の方々とともに歩んでこれたことはとても心強かった」と振り返り、「子どもたちは学び培った力を様々なところで発揮し、心るさとの発展に貢献してくれるであろう」と期待を述べました。その後校歌斉唱が行われ、長年親しまれてきた歌声が響き渡りました。
式の締めくくりには校旗返納が行われ、三島校長から糸原町長へ校旗が手渡され、歴史ある学び舎に幕が下ろされました。